

(令和5) 年度 児童館事業年間活動報告書

(22 梅津) 児童館

児童館	活動名	実施回数	参加人数											内容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年			小4～6年			中学生	大人	ボランティア				合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中学生	大学生			大人					
子ども	(1) 日常の自由あそび	随時														遊具を使ったあそび	遊具を使う場所を決め、安全面での配慮を行った。卓球をしに来る児童もいるので、臨機応変に遊び場所を設定した。
	図書の貸出	随時	48	10	13	19	1		52					143	地域の方、乳幼児親子向け絵本や育児書、小学生が対象。マンガや図鑑は貸し出しはしていない。	行事後や乳幼児クラブ後の貸し出しが多かった。色々な本が借りられることで家でのコミュニケーションに繋がっている。乳幼児親子・小学生ともに貸出が増えている。	
	(2) あそびの教室																
	工作	9		30	43	13	5							91	ブラバン、アイロンビーズ、スライム、夏の工作「スケルトン風車」、クリスマス工作「とびだすクリスマスカード」、凧作り	学童児童と一般児童をわけて実施。クリスマス工作では定員を超えての申し込みがあり、全員受け入れた。季節に沿った工作は、興味を持って参加し、作る楽しさを感じたり、完成した達成感を感じてもらえた。一人ひとりの個性や感性を大事にし、子ども達が主体的に作れるよう視覚的アプローチを工夫したり、見守りも大事にしていきたい。	
	こま月間、こま検定	6			46	1	7							54	こま検定の検定表をもとに、10級から1級まで、また段にも挑戦する	初めてする児童はひもの巻き方から教え、少しずつ回せるようになってきたり、毎日練習する児童もいた。また、学童休会中の児童も段の技を練習して検定を受けるために来館していた。検定日をバラけることで、モチベーションを高く維持することができた。また、積み重ねが評価してもらえるいい機会になっている。その反面、苦手な子へのアプローチを大事にした。	
	もしかめ記録会	3			38	2	2							42	もしかめが何回できるか挑戦。できた数によりご褒美シールが貼れる。	1年生や初心者の子も受けやすく、記録会があることで取り組むきっかけになっていた。さらに記録カードやご褒美シールも意欲につながった。育成室で実施することにより、記録会も進めやすく、集中して練習していた。学童児童は夏休みから続いて練習する姿やお互い応援する姿が見られた。学童児童は思ったより受けておらず、一般参加も少ないため、広報の仕方について検討する必要がある。	
	(3) 行事活動																
	避難訓練	12		13	710	5	72		3						803	毎月、火事、地震、水害、不審者対策のテーマで実施。小学校や公園への避難方法や窓からの避難方法を職員も含め確認する。	4つのテーマに沿って、繰り返し学習したり、実際に避難することで、職員も子どもも意識が高まり、身につけている。年間を通して計画を立て、今後も継続して行うことで、いざというときに児童も職員も落ち着いて速やかに的確な行動ができるようにしたい。今年度は、消防署の方に来ていただき、知識と経験をさらに深める機会となった。
	児童館探検	1		9	13	1	1								24	児童館の行事やあそびの紹介、スライム作り	児童館の行事やクラブ、遊びを知ってもらう機会になっている。また、上級生が下級生に教える機会にもなっている。お手伝いを申し出た児童もあり、スライムコーナーで活躍した。
	館内オセロ・将棋大会	1		3	11	2	3		5						24	申込制による、オセロ大会・将棋大会	オセロはブロックに分けてトーナメント戦をし、各ブロック優勝者がリーグ戦で戦う。将棋は総当たり戦で行った。参加者はルールも把握しており、試合中に困るようなこともなく日ごろの成果を発揮することができた。優勝者は賞状がもらえ、自信につながっていた。オセロの駒の数え方を統一しておけばよかった。
	チャレンジパーク実行委員会	3				11	7								18	テーマ決め、コーナー準備、当日のお手伝い	子ども達から集めた意見を参考に、テーマを決める。事前準備として各コーナーの看板を作る。当日はいろいろなコーナーを、お手伝いとして担当してもらった。コーナーに来た乳幼児や小学生への対応を上手にしていた。
	クリスマス会実行委員会	2				4	4								8	内容の検討、決定など。役割分担を行い、準備や練習なども実施。	子どもたちがやりたい内容を参考に、その中から実施可能で参加者が楽しめそうなものをプログラムとして決定。当日の進行の役割分担をし、全員が活躍できる場を用意する。工作の準備をしたり、ハンドベルの練習を行ったりした。
クリスマス会	1		11	27	7	3		2	1		4		55	高学年実行委員による司会進行、もみじ文庫さんによる読み聞かせ、クラリネット演奏、チーム対抗ゲーム大会、プレゼント	高学年児童が主体として内容を考え実施。回を重ねることで自信につながっている。参加した子ども達は、出し物をみたり、みんなでゲームをして楽しい時間になっていた。季節を感じられる機会となっており、子ども達は毎年楽しみにしているようだ。実行委員会の始動をもう少し早くすればよかった。		

育 成 機 能	動	凧あげ	3	8	20	1	5					34	凧作りをした後、小学校のグラウンドや東中村公園で凧あげをする。	自分で作ったのが高くあがるととても喜び、達成感を感じていたようだ。毎年申し込んでる児童もおり好評である。職員含め作り方などを継承していき、今後地域の凧あげ大会につながればよい。	
	(4) クラブ活動														
	高学年クラブ Umeっこクラブ	12				65	18					83	工作（プラバン、アイロンビーズ、レジンアクセサリー、羊毛フェルト、ちぎり絵、牛乳パック工作、アルバム作り）、子ども企画（チャレンジパーク、クリスマス会）の中心として活動や当日の進行	職員が補助しつつチャレンジパークやクリスマス会などの行事もUmeっこクラブが中心となって企画・実行することができた。他の人を楽しませる行事だけでなく、自分達だけで楽しむ内容も行うことで、メリハリができており、自己実現の場となっている。	
	あそぶんじャークラブ	12	26	32	2	1						61	集団ゲーム、工作、カードゲーム等様々なあそびを体験する。毎月土曜日1回	様々なあそびに対してなんでも楽しむ児童が多かった。年間を通して出席率が高かった。	
	将棋クラブ	12			17		3							はさみ将棋や詰将棋問題を解いたり、メンバー同士で本将棋を対戦し合う。毎月土曜日(1回)	将棋に親しむいい機会ではあるが、登録は4名だが常時出席する児童は1名のみ。クラブ員以外でも興味を持っている児童は活動に参加させたり、職員と対局したりなどで活動した。土曜日は習い事をしている児童も多いため、来年度、実施する曜日を変更して、参加者を増やしていきたい。
	きりえクラブ	22	50	95	26	10							181	難易度順に10～1級を設定、3枚～5枚上手にできたら昇級。地域の郵便局に掲示	毎回のきりえを楽しみに申し込みしてくれている子がおり。定員を超えての受け入れが続いている。安全面に留意したうえで定員を増やしていきたい。今年度は、地域の郵便局に1か月にわたり掲示してもらい、保護者や地域のの人に見てもらうことができた。「チャレンジパーク」にて体育館に掲示した。掲示されているきりえを、とても嬉しそうにしていた。
	(5) 地域交流促進活動														
	梅童クラブ(母親クラブ)	40									298		298	毎週水曜日。地域の母親が卓球を練習しに集まる。	参加者の方が高齢になってきているので、体調等が心配であるが、汗をかくほど毎度楽しんでおられる。年末にはいつも児童館の大掃除をしていただき、助かっている。
	手話クラブ	14	5	68					1			30	104	さくらんぼサークルの方に来ていただき、活動している。毎月第1月曜日	指文字やカードを使って手話を覚える。クラブをのぞく子が多かったり、興味を持つ児童もいたが、継続が難しい。
	園芸クラブ	20	2	92									94	児童館の畑で花や野菜を育て収穫。また、弦を使ってクリスマスリース作りをする。母親クラブの方が畑の助言をして下さっている。毎月第1、3火曜日	作物の収穫がとても嬉しいようだった。年間計画に基づいて、植物の適期を逃さないように活動できた。今後も育て、収穫する楽しさを感じる活動にしたい。
大学生とあそぼう	2			65		3					9	77	大学生が作った絵本の読み聞かせやゲームで大学生との時間を過ごす。	同じ右京区の大学と連携し、事業を行えたことは良かった。自作の絵本をスライド上映して読んでもらったり、一緒にゲームをしたりすることは、日頃接点のない大学生のお姉さんたちとのいい交流になった。	
(6) 障害のある児童の居場所づくり	随時													それぞれが楽しく遊びやすい環境を作ったり、他の子どもたちと楽しく遊べるよう援助する。	子どもたちそれぞれの過ごし方に合わせて、遊びを提供したり他の友だちの遊びに入れるように配慮する。
(7) 思春期児童の活動支援 中高生タイム	25												0	17時から中高生の居場所作りとして、卓球ができるように日付を設定	中高生タイム以外の日程で児童館を利用することが多かった。PR方法の検討や現在小学生の子たちに中高生も利用できることを伝えていきたい。
推 進 活 動	合 計		48	167	1290	159	145	0	361	1	9	34	2214		
	(10) 移動児童館活動 あおぞら児童館	1	20	13	38	3	6		25	3	4	13	125	雨天のため児童館内で実施。、いろいろなあそびや七夕工作を行い、児童館を広く知ってもらおう。乳幼児のほっこりスペースやおたのしみタイムも実施。	梅津まちづくり委員会や大学生、中学生、民生さんの協力を得てコーナー展開を行った。家族での参加もあり、児童館の活動をたくさんの方に知ってもらえきっかけになった。雨天のため児童館内での実施となり、工作コーナーが混雑した。乳幼児さんのおたのしみタイムはのんびりと楽しんでもらうことができた。
	合 計		20	13	38	3	6	0	25	3	4	13	125		
子ども育成機能合計			68	180	1328	162	151	0	386	4	13	47	2339		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (22 梅 津) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子 ど も 本 家 庭 支 援 活 動	(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動 ①乳幼児クラブ活動 乳幼児クラブ 「ぶたさんクラブ」	35	271								242	3		516	対象：1歳半以上 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、ふれあいあそび、工作、公園におでかけなど。 ごっこあそびや体を使ってあそぶ内容、季節の工作など、家庭ではなかなか出来ない活動が好評だった。また、年間を通して落ち着いて工作できるようになったり、3歳児を中心に、あそびの中で子ども達同士のやりとりができるようになり、温かい雰囲気でも過ごすことができていた。今年度もクラブ後に自由あそびができなかったが、乳児クラブから来ている保護者が多く、母同士も和やかな雰囲気だった。
	乳児クラブ 「ねこさんクラブ」	36	276								292	3		571	対象：10ヶ月～2歳 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、公園遊び、大型遊具遊びなど。 学年が2学年にまたがり、月齢差があったものの、親子単位で遊んだり、体を使って遊ぶ活動を多く取り入れたため、のびのび遊べた。今年度に入ってから登録した新規の親子が多かったが、徐々に母同士の関係が深まり、我が子だけでなく、全体で子育てを喜び合う雰囲気ができており良かった。父や祖母の参加も多かった。
	乳児クラブ 「ひよこさんクラブ」	37	195								199			394	対象：～1歳、マタニティの母親 手遊び、読み聞かせ、ふれあいあそび、季節のあそびや工作、すくすくカード作りなど 年度当初は2～6ヶ月の新規の親子が多く賑やかだったが、後期はねこさんクラブに上がる子や保育園へ途中入園する子が多く、入れ替わりが激しくもあった。それでも春から来ている親子を中心に、保護者同士の関わりが見られ、1年を通して大きく成長する姿をお互いに喜び合うことができた。父の参加も見られた。
	②乳幼児の広場活動 あそびのひろば	31	243								243			486	自由参加のひろば。大型遊具等のおもちゃ遊び、最後は、手あそびや読み聞かせ、カード返しをする。親子のふれあい、いろいろな年齢層の親子の交流とする。 乳幼児クラブ登録親子以外にも、自由に遊べることを求めて「あそびのひろば」だけにくる親子や、他学区から来られる親子もいた。自由に遊びながら、母同士が交流している姿もよくみられた。
	子育てほっと広場	随時	58								55			113	乳幼児親子がおもちゃで遊んだり、ほっとひといきつける居場所の提供をしている。 幼稚園の帰りが早い日や、土曜日の行事についてきた弟妹の利用が主に多かった。親子でのびのびとあそんでいる姿がみられた。
	(2) 家族参加を促す活動 幼児クラブ運動会	1	14								11			25	構口公園で実施。 幼稚園の代休日、兄・姉の参加や父も2人参加があり、賑やかになった。風が強く、途中で雨が降ってきたが、すぐに止んだため予定通り最後まで実施できた。子ども達は広い場所で体を動かすことができてよかった。
	幼児クラブ 「消防出張所へおでかけ」	1	10								11			21	「梅津消防出張所」にて消防車や訓練の見学など 火災や救急についての話や訓練の見学に加え、防火服の着用や消防車に乗せてもらうなど普段できない体験ができ、親子ともに楽しんでおり、好評だった。父や祖母の参加もあった。
	児童館であ・そ・ぼ	4	15								15			30	8月の夏休み期間の午前中4回 図書室を乳幼児親子専用として開放 自由あそび（おもちゃ、絵本、育児相談） 事前申し込み制 夏休み期間に乳幼児の居場所作りとして実施。初めて来館や久しぶりに来館した親子もおり、その後の利用につながった。涼しい部屋で遊具で遊んだり、絵本を見たり、各々有意義に過ごしていた。ドア越しではあるが、小学生との交流もあり、母達もその姿を見て、子育ての見通しになっていた。来年度は、小学生との交流する時間を設けたい。
	乳幼児親子「ファミリーデー」	1	5								9	2		16	手あそび、パネルシアター、パラバルーン、パスダオルあそび、工作「手形アート」 父、祖父母、中学生ボランティアも参加。中学生2人は積極的に親子と関わっており、お互いを知れるいい機会になった。また、夏休み中に中学生が作ってくれた「手作りマラカス」をおみやげに渡すと、とても好評だった。
	合 計		1087								1077	3	0	2172	
		子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数		
	(3) 子育て家庭相談・援助活動	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童)	45 4 6 4 3	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他			167	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他		93 12 23 4 11 18	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校		1		

	中学生 高校生	1	{ 保育所 }	{ 児童クラブの提出書類について 粉ミルクを譲りたい等 }	総合支援学校 その他 { }	
	件数 計	167	—	167	—	161
(4) 子育てグループを育成 ・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容	育成・支援内容	成果と課題	
(5) 子育てと健全育成に 関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容	成 果 と 課 題		
	地域子育て支援ステーション事業	4	普段児童館で行っていることを公園や体育館で実施したり、子育てのヒントになる分野の専門家を講師に招き講演をしていただく。また、普段体験できないような内容も実施する。(絵本の読み聞かせ、移動動物園、あおぞら児童館、梅津チャレンジパーク)	定員を設け、申込み制で実施。児童館を利用している親子を中心に楽しんでもらえた。イベントをきっかけに乳幼児クラブに登録する親子もいた。今後もアンケートや利用者の声を参考にし、行っていきたい。		
	子育てエール	1	講師を呼び、親子の絆を深める。また、子育ての不安の解消に役立つ。(ベビーマッサージ)	地域の方に紹介していただき実施。家ではなかなかできないことを児童館でやることで親子のスキンシップの方法を知れた。また、家でも役立つことができ、好評だった。終了後、講師の方より子育て相談の時間があつたことで、母の子育て不安解消にもなりよかつたという意見もあつた。		

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題			
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合計	
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
(1)地域住民との交流を促進する活動		うめづチャレンジパーク	1	児童館	34	18	43	11	6	1	49	162	梅津小学校、学童クラブ保護者、梅津まちづくり委員会、梅津民生児童委員協議会等	午前・午後の2部制実施。各部開始前は体育館のステージで、大学生によるギターの弾き語りやジャグリングショー、小学生による発表等を行う。前年度と同じく、高学年以上の実行委員や保護者の協力に加え、新たに民生児童委員や京都大学・佛教大学・京都外国語大学の学生・中学生ボランティアの協力を得る。当日は、乳幼児親子や小学生、地域の方々などたくさんの人で活気に溢れ、各々のコーナーを楽しんで参加してくれた。	
		移動動物園	1	児童館	28						35	63	民生児童委員協議会	今年度は、地域住民の方にもチラシにて案内する。子どもが小さくなかなか気軽に動物園にいけないという声や、屋外で動物に触れあう機会が出来て良かったという声が多かった。毎年だが、来年も開催の希望をする保護者が多い。	
		家族で絵本を楽しもう	1	児童館	7						7	14	民生児童委員協議会	講師による読み聞かせやカード等を用いての遊びは、子ども達も興味津々で楽しんでおり、また、子ども達の行動を踏まえて、子育てのヒントになるような話があり、お母さん達もすごく参考になった様子だった。アットホームな雰囲気、終了後の個人相談も色々聞いてよかったようだ。	
		子育てサロン	3	児童館	29						30	59	民生児童委員	日頃から児童館を利用している親子以外にも、初めて来館する親子もおり、その後の利用に繋がった。また、父の参加もあり、地域の方との交流の場となった。保育士さんによる手あそび読み聞かせは親子で楽しんでおり、感染症等の話では参考になっていた。今後も主任児童委員や民生委員の方々との連携を図り、連携して行っていきたい。	
		運営協力会	2	児童館							18	18	各地域団体	各団体の活動や児童館での活動を報告することで、理解を深める機会になった。	
		ステーション会議	2	児童館							11	11	梅津民生児童委員協議会、富士保育園、照像認定こども園	お互いの施設の紹介や情報共有ができた。また、保育士による実技研修では、今後の活動の中で活かすことができるため、大変参考になった。	
		合計	-			98	18	43	11	6	1	150	327		
	(2)ボランティア活動の促進		活動内容	活動人数				成果と課題							
		手話クラブの指導			30	30	どの方も子どもたちにあたたかく関わって下さっている。地域のボランティアさんと子どもたちの関わりが増えることは、地域に保護者や児童館職員以外の子どもたちを見守る大人の目が増えることにつながっている。今後も担当者との連携を継続していきたい。								
		大掃除手伝い			12	12									
		チャレンジパークの手伝い	3	8	19	30									
		あおぞら児童館の手伝い	3	4	13	20									
	合計	6	12	74	92										
福祉促進		連携団体等	連携内容				成果と課題								
		梅津学区社会福祉協議会	敬老の日に向けて子どもたちがプレゼントを制作し、届けていただく。独居老人とのクリスマス交流会。				梅津の独居老人の方にメッセージカードと干支の豆色紙をプレゼント。下校時の挨拶をしあつたりで見守りボランティアにつながっている。クリスマス会では、子ども達の出し物を見てもらったり、楽しい交流ができています。								
		母親卓球「梅童クラブ」	児童館の大掃除のお手伝い。毎週水曜日に活動。				年末に館内の大掃除をして下さったり、畑のアドバイスもしてくださっている。来年度は、子ども達への卓球指導も復活させたい。								
		手話サークル「さくらんぼ」	月1回手話クラブの先生をしていただいている。ゲーム等も取り入れ、楽しく指導していただいている。				身近な会話やあそびを通した指導など子どもたちにも親しみやすい工夫をしてくださり、子どもたちも楽しんでいました。今年度は「チャレンジパーク」で手話クラブとして発表に見に来て下さり、子ども達へ真摯に向き合ってくださっている。								
		梅津民生主任児童委員	子育てエールなどにボランティアで参加していただいたり、二か月に1回子育てサロンを開催。ステーション会議・研修に参加。今年度は「モデル民協」を実施。				地域の子育て家庭の状況について情報交換や、心配な家庭の情報共有をしている。また、子育てエールや子育てサロンなどで児童館の利用者に声掛けなどをしてくださっている。今年度は「モデル民協」として、10・11月に乳幼児親子や地域の人向けにイベントを実施。2回ともたくさんの参加があり、異世代交流もできた。								
		見守り隊	学童児の帰り道に見守っていただく。				子どもたちが安全に安心して帰宅できる。今後も連携を大切にしたい。								

機 能	(3) 地域との連携を促進する活動	右京子ども支援センター	子育て家庭支援に関する行事の日程を連絡・ステーション会議への出席	単発の行事についてはセンター発行の情報紙を見て来館される親子もいる。今後も会議などで情報交換・共有し連携を図っていきたい。
		梅津少年補導	少補主催の行事への参加・協力。凧揚げ大会など	今年度は久しぶりに凧揚げ大会があり、大凧に子ども達の手形を押したり、当日は大凧を引いてもらったり、子ども達との交流を再開できた。
		梅津小学校	おたよりの配布依頼、学童クラブ児童に関する情報共有・備品借用など	子どもたちの様子などについて情報共有している。また運動場や体育館を使用させていただいたことで活動の幅が広がっている。
		梅津中学校	児童館行事の中学生ボランティア募集のポスター掲示、生き方探求チャレンジ体験の受け入れ	児童館行事に、中学生ボランティアとして当日数名の中学生が参加。また、チャレンジ体験では3人を受け入れる。小学生や乳幼児、地域の方との関わり、双方に良い経験ができています。
		NPO法人セカンドハーベスト京都	京都市児童館学童連盟を通して、フードドライブに協力	普段児童館を利用している乳幼児や学童クラブの親子や、地域の方より寄付があり、たくさん集まった。
		照隅認定こども園	ステーション会議・研修。「園庭開放」に参加。	地域の子育て中の親子や出身園の学童児について情報交換・共有をする。また、出身園の学童児が増えており、配慮が必要な児童もいるため、今後も連携を大切にしたい。また、園で開催されている「園庭開放」について、普段児童館を利用している乳幼児親子に参加を呼びかけ、一緒に参加。とても喜んでおられた。
		富士保育園	ステーション会議・研修。	地域の子育て中の親子や出身園の学童児について情報交換・共有をする。出身園の学童児が多く、配慮が必要な児童もいるため、今後も連携を大切にしたい。
		学童クラブ保護者会	チャレンジパークなど児童館事業への協力。	チャレンジパークへは各コーナーの手伝いをしてもらい助かっている。地域の人や子ども達と交流の場となっている。長期休業中(年6回)の「お弁当いらないデー」としてお弁当の調達。子ども達、保護者、両面より喜ばれている。
		えほん館	地域子育て支援ステーションで講師派遣	児童館に理解を持ち、毎年子育てエールで絵本の素晴らしさを子育て家庭の保護者にお話して下さっている。
		東中村公園愛護協力会	公園の環境維持に協力	移動動物園やうめづチャレンジパークでの公園の利用で協力していただき、助かっている。
		梅津まちづくり委員会	まちづくり主催の「七夕会」「川あそび」「わんぱく冬まつり」に児童館も協力。児童館主催の「チャレンジパーク」に協力。	「川遊び」や「冬まつり」では、当日職員が手伝いに参加。「七夕会」では、たくさんの参加者があり、楽しんでいた。また、「うめづチャレンジパーク」ではあそびコーナーや子ども達の誘導等に協力していただき、子どもたちを安全に楽しませてくれた。
		梅津民生児童委員協議会	児童館主催の「あおぞら児童館」「うめづチャレンジパーク」に協力。	児童館行事のスタッフとしてお手伝いしてもらい助かっている。乳幼児親子や小学生が安全・安心に楽しめ、また交流の場になっている。
		右京消防署・梅津出張所	避難訓練の指導・乳幼児クラブで出張所へ見学	小学生には、消火体験や花火の安全な遊び方などを分かりやすく指導して下さった。また、乳幼児クラブとして訪問させてもらい、防火服の着用体験や消防車の乗車体験等、普段なかなかできない体験が好評だった。
		右京こどもはぐくみ室	乳幼児健診への職員派遣	検診の待ち時間に児童館の紹介等をする。コロナ対策のため親子の滞在時間が短いため、児童館の紹介をすることどまった。
		第5ブロックの児童館 西京極・太秦・御室・山ノ内・安井・向上社・常磐野・嵯峨・嵯峨野・嵯峨広沢・葛野・梅津北・うたのひこばえ・西京極西	ブロックまつり、ドッジボール交流会、あそび交流会などブロック交流行事 サンサにこにこ広場、イオン子育てほっと広場への参加	コロナ禍でできなかった行事も今年度はやり方をかえながら実施できたものもある。同じ右京区内の職員と連携することで、自館だけでなく右京区全体で乳幼児親子や子ども達を支えることの重要性を再確認できた。今後も情報交換や連携を大切にし、地域貢献していきたい。

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (22 梅津) 児 童 館

地 域 福 祉	基 本 活 動		組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		(4) 児童館を支える地域組織作り	梅津児童館運営協力会		梅津社会福祉協議会 右京少年補導委員会梅津支部 梅津民生児童委員協議会 梅津児童館学童クラブ保護者会 梅津児童館 梅津小学校 梅津小学校PTA 梅津学区交通安全推進会 梅津まちづくり委員会 梅津自治会連合会 梅津地域女性会 梅津中学校		2回	年間計画 帰宅時の安全見守り 大型行事について 年間総括	2回(6月・3月)に児童館にて実施。 各々の団体の顔合わせと活動報告をしたり、児童館での活動を報告することで、理解を深める機会になった。
			梅津地域ステーション		梅津民生児童委員協議会 照隅認定こども園 富士保育園		2回	情報交換 研修 地域課題への話し合い	2回(9月・2月)に児童館にて実施。地域の特色の共通認識が得られた。また、研修では手あそび等を紹介し合い、今後の活動に活かせる内容だった。民生児童委員と保育園との繋がりもできたため、今後も連携を図っていきたい。
促 進 機 能	推 進 活 動		会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題	
			会場提供 備品貸出		会議等		学童クラブ保護者会 町内自治会 地域	会議にかかわることで担当者との連携がしっかりとできています。今後も関係を継続していきたい。	
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
			乳幼児クラブアンケート	今後の活動参考の為保護者の要望把握のため	乳幼児クラブ保護者	梅津児童館	無記名アンケート	来年度への課題や利用者の要望等を知る事ができ、運営についての改善に役立てる。	
			ステーション事業アンケート	今後の活動参考ため保護者の要望把握のため	ステーション事業の参加者	梅津児童館	無記名アンケート	親への意識調査およびニーズの把握のため。	
			学童クラブ夏休み保育アンケート	今後の活動参考の為保護者の要望把握のため	学童クラブ保護者	梅津児童館	無記名アンケート	児童館の改善、向上に役立てる。	
			児童館利用者共通アンケート	児童館の評価や改善点の把握のため	児童館利用者	京都市社会福祉協議会	無記名アンケート		

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(22 梅津) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
	児童館だより (小学生・中高生版)	毎月1回	梅津小学校	全世帯分印刷、クラス毎に配布してもらおう。	月の行事予定 活動報告	館内掲示や小学校全世帯配布で広報することによって行事や取組みの利用拡大につながっている。また、小学校の全クラスに配布してもらうことで、小学校との繋がりもできている。
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
広 報	児童館だより (乳幼児親子版)	毎月1回	梅津学区各町内	自治会連合会にて配布または職員が各町内会長宅に届け、各町内での回覧をお願いする。	月の行事予定 活動報告	来館された乳幼児親子は、来館時にもらってかえることが多く、おたよりをみながら案内したり等、継続的な利用につながっている。また、地域に回覧・配布することで地域の方とのつながりができている。
			児童館乳幼児クラブ	クラブ参加者に配付。		
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			ほっこりスペース	おたよりの掲示を行っている。		
			右京子ども支援センター 右京保健センター 来所者	センターの方を通して来所者に配布していただく。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
活 動	地域子育て支援ステーション事業のチラシ	行事の1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者・照隣認定こども園	乳幼児クラブ参加者に配付。 おたよりにも印刷。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。	あおぞら児童館・移動動物園・絵本の読み聞かせの宣伝	声かけやホームページなどでも広報し、内容についても参加者のニーズを拾い上げ参加したいと思えるように工夫した。
	子育てサロンのチラシ配布の協力	行事の1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者	乳幼児クラブ参加者に配布。 おたよりにも印刷。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。	子育てサロンの宣伝	梅津北児童館と会場を交互にして開催しているため、梅津学区以外の利用者の参加もある。
	よりみち	年1回	右京の乳幼児親子	右京各児童館にて配布。 右京の行事の際に配布。	右京の各児童館における乳幼児親子対象の取組みの紹介	他児童館の利用につながっている。
	ホームページ	毎月1回	一般市民	インターネット	行事の案内、おたよりの閲覧、学童クラブ関係書類の添付	気軽にパソコンやスマートフォンから閲覧できることで、利用につながっている。
	掲示板	毎月1回	一般市民	掲示	各月の行事の案内、ポスター・おたより掲示	児童館の前を通りがかった人が見て下さっている。